



PICK UP

色鮮やかな蝶を日吉地区に

日吉地区でオオムラサキを育てる活動が進められています。この活動を行っているのは上鍵山の城平正文さんと兵頭知幸さん。オオムラサキの幼虫を昨年12月にインターネットで200匹購入。お二人で100匹ずつ分けて、それぞれのハウス内で育てています。驚くのは、オオムラサキの幼虫の生命力。オオムラサキは幼虫の状態ですぐ冬を越すため、12月に購入した幼虫はそのまま冷蔵庫へ。温かくなった4月に冷蔵庫から取り出し、今回の活動が始まりました。



オオムラサキは、日本昆虫学会が国蝶として指定するほど美しい模様をした蝶です。城平正文さんの自宅近くには、自由に出入りすることができるオオムラサキハウスを設置。成長に個体差はありますが、6月上旬からサナギになり、6月下旬には成虫が見られそうです。今年で2年目となるこの活動。「今年こそは自然の中でも繁殖できるように環境を整えていきたい」とお二人の表情はやる気に満ち溢れていました。

1_活動を進めている城平さん(左)と兵頭さん(右) 2_城平さんが設置したオオムラサキハウス 3_羽化に向けて成長するオオムラサキの幼虫 4~5_オオムラサキハウスの看板



国境を超えて移動する珍しい蝶



▲城平さんが育てるフジバカマ

「アサギマダラ」という長距離を移動する珍しい蝶がいます。城平さんはアサギマダラを呼ぶため、フジバカマという植物を栽培しています。アサギマダラは、このフジバカマを好んで寄ってきます。今年、城平さんはフジバカマをおよそ550株準備。フジバカマは、日吉夢産地や地域の方々に配られ、皆さんに育ててもらいます。アサギマダラは、例年であれば、10月10日頃から10月20日頃に、このフジバカマを求めて鬼北町に移動してくるそうです。

オオムラサキもアサギマダラも色鮮やかな模様をした大型の蝶です。興味がある方は珍しい蝶を観察してみてもいいかもしれません。